

# 四季の風だより

春風号 平成25年4月5日

田中せいこ社会保険労務士事務所

今月号のお話し

○はじめまして!

○お仕事参観日

○吉祥山で想うこと

## ♪ はあるの小川はさらさらいくよ ♪

いよいよ季節は春!皆さんの会社やご家庭でも、新入社員を迎えたり、お子さんが入学式を迎えたりと、晴れやかな気持ちでおられる方も多いかと思います。

私の事務所でも、4月から事務員さんの荏原(えばら)さんに来ていただき、事務所が明るくなり、嬉しくてワクワクしています。ではここで、荏原さんに自己紹介していただきましょう。



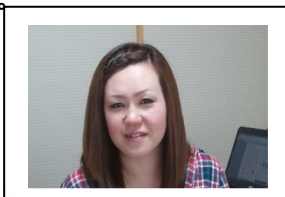
## はじめまして!

4月から勤務することになりました、荏原みゆきです。色々な事に興味がある41歳です。

コレ!!と思って何かを始めて、コレ!!と...また楽しい事に出会ってしまいます。毎日が忙しく楽しいのですが、疲れっぱなしです。手作りが好きで、もう夏の準備で何かを作りたいのですが、自分の時間は少ししかないのですが、秋冬の物を今から作る?と、本を見ながら布や編み糸を出して考えていると「こんな時間だ...寝るか~」と、時間切れになってしまいます。ニヤニヤしながらモヤモヤしています。

私の7歳の娘も、そんな匂いがしています。ポーッとしているところを見るのは、病気の時くらいでしょうか...(笑)。今は、ベランダのイチゴの収穫を楽しみにしているみたいです。気が向くと見に行くと「つぼみができたよ」なんて報告してくれます。

一所懸命がんばりますので、宜しくお願い致します!



荏原さんの娘さんは、この春、小学2年生になるということで、春休み中は、お母さんと一緒に事務所に来てくれました。事務所で折り紙を折ったり、絵を描いたり、とても器用でお行儀の良い、可愛いお嬢ちゃんです。

こんなに素敵な作品が出来上がりました。



## お仕事参観日



荏原さんの娘さんが来てくれたことで思ったのですが、自分の職場に子供さんを連れていった事があるという方は、どのくらいいらっしゃるのでしょうか?

事業主であれば、そういった機会もあるでしょうが、従業員さんの場合は、難しいかもしれません。

私の父は土木の仕事をしていて、父が現場に行く時、ダンプの横に乗って一緒に連れて行ってもらった事があります。だから、子供の頃の私の父に対するイメージは、ダンプのように大きくて力強いイメージでした。日焼けした顔も、一生懸命仕事している証だから、私

にはとてもカッコヨク見えました。

母がパートをしていた、ソフトクリーム屋さんにも行った事がありますが、お店の帽子とエプロンをした母は、いつもよりキレイに見えました。

夫の会社の工場見学にも行ったことがあります。工場内は寒そうで、大きな騒音が鳴り響き、沢山の機械が並んでいました。このような所で、ずっと働き続けてくれている夫に、日頃忘れていた感謝の気持ちが湧いてきました。そして、まだ学生だった娘たちが「めんどくさい、忙しい」と言って、一緒に来なかったことを、とても残念に感じました。

皆さんの会社でも、お仕事参観日を企画してみてもいかがでしょうか？カッコイイお父さんや、キレイなお母さんを、子供たちに見せてあげたいですね。そして素敵な旦那さまや美しい奥さまを再認識していただければ、従業員さんの仕事へのモチベーションも、更にアップするのではないのでしょうか。



## 吉祥山で想う事



雨上がりの日曜日、自宅から車で10分ほどの所に登山口がある、吉祥山に登ってきました。雨上がりとあって、木々の若葉は鮮やかさを増し、枝先の水滴となった雨水が、朝日に輝いています。桜は殆ど散っていましたが、アセビの花が満開でした。

山頂まで登ること45分、標高382メートルと高い山ではありませんが、空気が冴えた日には、富士山や南アルプス、三河湾と360度のパノラマが望めます。

さすがに雨上がりのこの日は、霞んでいて富士山も南アルプスも見ることにはできませんでしたが、360度のパノラマを見ていると、心の中が広々としていくような爽快感があります。その眺望の良さに惹かれて、山頂でオカ

リナを独り演奏する人や、ホラ貝を吹く人に出会ったりします。手軽であって、とても贅沢な時間を得ることができるのです。

パノラマの景色の中心で、私はコーヒーを飲みながら、40年前を思い出していました。

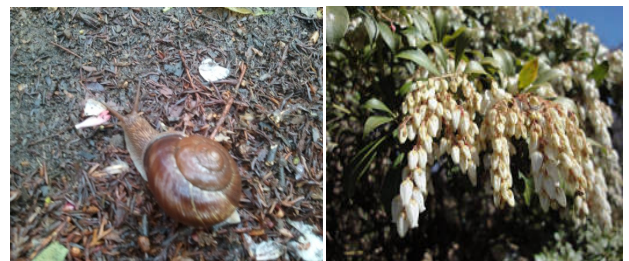
結婚と同時に、それまで住んでいた神奈川県座間市から、愛知県豊川市に嫁いできた私は、小学校5年生の頃、この吉祥山に来たことがあったのです。

何故かと言いますと、父が経営する土木の会社が、新城カントリーの建築にも関わっていたため、5年生の夏休みに友達3人と一緒に、父に連れられて、吉祥山の麓の新城カントリーの芝貼りのアルバイトをしに来たのでした。

アルバイトといっても、真夏の炎天下の芝貼りは、1時間もしないうちに嫌になり、アルバイト代だけはしっかり貰って、後は父に綺麗な河に連れて行ってもらい、河で泳いで遊んでいました。おそらく、その河が豊川だったのだらうと思います。

その頃は、まさか自分がこの土地に嫁いでくるとは、夢にも思っていませんでした。ちょっぴり不思議な偶然ですね。

コーヒーを飲み終わっての下山道、雨上がりにかたつむりも嬉しそうです。アセビの花も満開です。



では、ここで一句です。

「朧(おぼろ)」は春の季語。春、特有の、万物がぼんやり見える様子のことです。

## 笛吹けば ふもとの里は 朧なり

最後までお読みいただき、ありがとうございました。